

平成22年第1回八千代町議会定例会会議録（第4号）

平成22年3月17日（水曜日）午後3時04分開議

本日の出席議員

議長（4番）	生井 和巳君	副議長（2番）	上野 政男君
1番	大久保弘子君	3番	中山 勝三君
5番	相沢 政信君	6番	大久保 武君
7番	水垣 正弘君	8番	矢中 召二君
9番	小島 由久君	10番	稲葉 常美君
12番	宮本 直志君	13番	大久保敏夫君
14番	湯本 直君		

本日の欠席議員

11番 小竹 徳市君

説明のため出席をしたる者

町 長	大久保 司君	副 町 長	澤木 薫君
教 育 長	高橋 昇君	会 計 管 理 者	渡辺 常雄君
秘 書 課 長	久保谷六衛君	総 務 課 長	生井 光男君
企画財政課長	風見 好信君	税 務 課 長	瀬崎 始君
町 民 課 長	浜名 進君	福祉保健課長	関 好太郎君
生活環境課長	飯島 正男君	産業振興課長	青木 良夫君
都市建設課長	稲村 信義君	上下水道課長	上野 林作君
農業委員会 事 務 局 長	水垣 進君	教育次長兼 学校教育課長	斉藤 実君
公民館長兼 生涯学習課長	飯島 英男君	給食センター 所 長	生井 勝巳君
総務課参事	水書 正義君	企画財政課長 補 佐 兼 財 政 係 長	鈴木 忠君

議会事務局の出席者

議会事務局長 猪瀬 誠 補 佐 外山 悦子
主 幹 岩坂 信幸

議長（生井和巳君） 引き続きご参集をくださいませ、まことにありがとうございます。
す。

会議に先立ちまして、久保谷秘書課長より本議場で退職のあいさつをしたい旨の申し
出がありましたので、これを許可します。

久保谷秘書課長、登壇願います。

（秘書課長 久保谷六衛君登壇）

秘書課長（久保谷六衛君） 議長さんの許可を得ましたので、退職に当たりまして、お
礼のごあいさつをいたします。

議員の皆様のご鞭撻をいただきまして、大過なくこのたび退職することができまして、
深く感謝いたしております。昭和48年4月に奉職以来、37年間にわたりまして、議員の
皆様方には公私ともに温かいご指導と格別なるご厚情をいただきまして、厚くお礼申し
上げます。

顧みますと、教育委員会事務局を出発点に、10回にわたりまして配置がえをしました
が、その中でも議長さんが初当選なされました平成11年の11月に議会事務局のほうに配
置がえになりまして、議員の皆様方と研修等に随行させていただきましたことが一番の
思い出となっております。

これからは、議員様方にいただきましたご厚情を心の糧にしまして、健康に留意しま
して意義ある人生を送りたいと考えております。また、一町民といたしまして、郷土八
千代の発展のために、陰ながら微力を尽くしたいと考えておりますので、今後ともご指
導、ご交誼のほどよろしく願いいたします。

終わりにになりましたが、八千代町のますますの発展と議員の皆様方のご活躍、ご健勝
をお祈り申し上げまして、お礼の言葉とさせていただきます。本当にどうもありがとう
ございました。（拍手）

議長（生井和巳君） 長い間、ご苦勞さまでございました。

ただいまの出席議員数は13名であります。よって、定足数に達しておりますので、こ
れから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

(議長が了承を求めた議事日程は次のとおり)

議 事 日 程 (第4号)

平成22年3月17日(水)午後3時開議

- 日程第1 議案第12号 平成22年度八千代町一般会計予算
議案第13号 平成22年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第14号 平成22年度八千代町老人保健特別会計予算
議案第15号 平成22年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第16号 平成22年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第17号 平成22年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第18号 平成22年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第19号 平成22年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第20号 平成22年度八千代町水道事業会計予算

(各常任委員長報告、審議、採決)

請願(常任委員長報告、審議、採決)

- 日程第2 議案第21号 町道路線の廃止について
議案第22号 町道路線の認定について

- 日程第3 閉会中の継続調査の件
閉 会

-
- 日程第1 議案第12号 平成22年度八千代町一般会計予算
議案第13号 平成22年度八千代町国民健康保険特別会計予算
議案第14号 平成22年度八千代町老人保健特別会計予算
議案第15号 平成22年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算
議案第16号 平成22年度八千代町介護保険特別会計予算
議案第17号 平成22年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算
議案第18号 平成22年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算
議案第19号 平成22年度八千代町下水道事業特別会計予算
議案第20号 平成22年度八千代町水道事業会計予算

請願第1号 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願

議長（生井和巳君） 日程第1、議案第12号 平成22年度八千代町一般会計予算、議案第13号 平成22年度八千代町国民健康保険特別会計予算、議案第14号 平成22年度八千代町老人保健特別会計予算、議案第15号 平成22年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算、議案第16号 平成22年度八千代町介護保険特別会計予算、議案第17号 平成22年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算、議案第18号 平成22年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算、議案第19号 平成22年度八千代町下水道事業特別会計予算、議案第20号 平成22年度八千代町水道事業会計予算、請願第1号 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願を一括議題といたします。

各議案につきましては、去る3月9日の本会議において関係常任委員会に付託してありますので、各常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

初めに、総務常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

矢中総務常任委員長。

（総務常任委員長 矢中召二君登壇）

総務常任委員長（矢中召二君） ただいま議長の指名をいただきましたので、総務常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、議案第12号中、一般会計予算の歳入の全部と歳出の議会費、総務費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費、民生費の一部であります。

当委員会は、委員4名出席のもとに、3月15日午後1時30分から第5会議室において、町執行部より副町長、秘書課長、総務課長、企画財政課長、税務課長、会計管理者、議会事務局長、秘書課参事、総務課参事、企画財政課参事、税務課参事の出席を求め、それぞれ担当課長から詳細に説明を受け、慎重審議をいたしました。

その結果、議案第12号中、一般会計予算の歳入の全部と歳出の議会費、総務費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費、民生費の一部については全会一致で可決することに決定いたしました。

以上、総務常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告申し上げますが、議員各位のご賛同を賜りますようよろしくお願いを申し上げます、報告といたします。よろしく申し上げます。

議長（生井和巳君） 次に、教育民生常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

湯本教育民生常任委員長。

（教育民生常任委員長 湯本 直君登壇）

教育民生常任委員長（湯本 直君） 議長のご指名をいただきましたので、教育民生常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告をいたします。

当委員会に付託されました案件は、議案第12号中、一般会計予算の歳出の総務費、民生費、衛生費、教育費及び議案第13号 国民健康保険特別会計予算、議案第14号 老人保健特別会計予算、議案第15号 後期高齢者医療特別会計予算、議案第16号 介護保険特別会計予算であります。

当委員会は、委員5名出席のもとに、3月15日午前9時から役場4階第6会議室において、町執行部から教育委員会の教育長初め各担当の課長、参事の出席を求めまして、慎重に審議をいたした結果、原案に賛成多数で可決することに決定をいたしましたので、ご報告を申し上げます。よろしくひとつお願いします。

議長（生井和巳君） 次に、産業建設常任委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。

大久保産業建設常任委員長。

（産業建設常任委員長 大久保 武君登壇）

産業建設常任委員長（大久保 武君） ただいま議長のご指名をいただきましたので、産業建設常任委員会に付託された案件の審議の経過と結果について報告いたします。

当委員会に付託されました案件は、議案第12号中、一般会計予算の歳出の労働費、農林業費、商工費、土木費、議案第17号 八千代中央土地地区画整理事業特別会計予算、議案第18号 農業集落排水事業特別会計予算、議案第19号 下水道事業特別会計予算、議案第20号 水道事業会計予算であります。

当委員会は、3月15日午後1時半より第7会議室において、委員4名並びに町執行部より産業振興課長、都市建設課長、上下水道課長、農業委員会事務局長、産業振興課参事、都市建設課参事、上下水道課参事の出席を求め、開催いたしました。

予算書に基づき、それぞれ担当課長から各項目の予算内容について説明を受け、慎重に審議した結果、議案第12号中、一般会計予算の歳出の労働費、農林業費、商工費、土木費、議案第17号 八千代中央土地地区画整理事業特別会計予算、議案第18号 農業集落

排水事業特別会計予算、議案第19号 下水道事業特別会計予算、議案第20号 水道事業会計予算については、全会一致で原案のとおり可決することに決定いたしました。

また、審議の中で、憩遊館の経営の改善を強く求めるべきとの意見が出され、議論した結果、事業内容や効果などの報告書を精査し、指導管理の強化と経営の改善を強く要望するという意見を付して可決することで当委員会では決定いたしました。

次に、請願第1号 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現の意見書提出を求める件ではありますが、財源措置を伴うものであり、慎重に審査し、内容を検討する必要があるという意見があり、継続審査にすることに決定いたしました。

以上、産業建設常任委員会に付託されました案件の審議の経過と結果についてご報告申し上げましたが、何とぞ議員各位のご賛同をくださいますようお願い申し上げまして、ご報告といたします。

議長（生井和巳君） 以上で各常任委員長の報告を終わります。

これより各常任委員長に対する質疑を許します。

これから質疑を行います。

質疑ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

1番、大久保弘子議員。

（1番 大久保弘子君登壇）

1番（大久保弘子君） ただいま議長より許可がありましたので、議案12号 一般会計、それから13号 国保特別会計、14号 老人保健特別会計、議案15号 後期高齢者医療特別会計、16号 介護保険特別会計について反対討論をいたします。

平成22年度の一般会計予算案について反対し、その理由について述べたいと思います。町長は、町政運営に当たって、だれもが安心して暮らせ、安らぎのあるふるさとを目指して町政運営に取り組むと述べられました。これはだれもが望むところであり、私どももその実現に向けて知恵と力を尽くしていく立場は当然のことです。しかし、町長から提案された平成22年度の予算の中身が、本当に安心して暮らせ、安らぎのあるふるさとづくりになっているのか疑問に感じます。

ご承知のように、昨年の総選挙で国民の政治を変えてほしいとの強い願いのもと、これまでの自公政権が敗退し、民主党を中心とする新しい政権が誕生しました。これまでの構造改革路線による国民いじめの政治が国民本位に変わるのか、事業仕分けをしてどれだけの財源が生み出せるのか、だれもが大きな期待を持って注目していました。しかし、高校の授業料無償化や生活保護の母子加算復活など部分的には前進しましたが、軍事費と、大企業、大金持ちへの減税には全く手をつけず、公約した後期高齢者医療制度の廃止は先送りされ、障害者自立支援法の応益負担も中途半端に残す形になりました。軍事費には毎年5兆円もつぎ込み、大企業や大金持ち優先の根本路線は前政権と全く変わりません。

ご存じのように、3月11日に茨城空港が開港されましたが、これもまた大赤字が県民の負担を重くするもので、大型開発優先の公共工事です。前政権の3兆円規模の米軍再編の一環として500億円もの巨額の税金が使われ、百里基地での合同演習強化を図るため、軍民共用空港としてつくられたもので、220億円を超える県の予算、私たちの税金ですが、使われています。今後、赤字穴埋めに、さらに私たちに負担がかかってくるもので、我が党は当初から反対してきました。このように莫大な予算が福祉や教育に向けられれば、中学生までの医療費無料化や高齢者の医療費拡充は十分にできるはずです。

当町の予算につきましても、町民の暮らしを反映して町税の減収が続きます。地方交付税は、わずか3.2%増額になりましたが、町債は6.2%増です。国の目玉策である子ども手当については、直接家計を支援することには賛成ですが、扶養控除の年少分廃止とセットで打ち出されたもので、増税の方向ですし、地方にも負担させるものです。

また、民間保育所低年齢児保育体制緊急整備事業については、前政権からの継続で、21年度途中から23年度までの事業ということで、24年度以降は市町村が2分の1負担する民間保育所乳児等保育事業補助に戻るという内容で、保育士増員事業についても補助要件が年々厳しくなり、18年度には延長保育を行っている事業所には補助単価15万1,800円、1カ月につきだったものが、20年度には延長保育ほか特別事業を2事業以上実施している事業のみの実施に狭められ、この保育サービス支援が削られてしまいました。一時的な施策で、あとはサービスを削減する方向では、これまでと全く変わらないと思います。不況で生活が苦しくなる中、共働きの家庭がふえ、3歳未満児の保育環境の拡充が求められています。恒常的な予算化が必要です。

また、障害者の住宅リフォーム助成も減額、小中学校の図書購入費なども削減になっ

ております。町独自予算をふやし、障害者や子供たちに温かい施策が必要ではないでしょうか。

また、農業の振興についても、本当に安定した農業経営ができる予算になっているのでしょうか。米作農家の話を聞かしても、生産費がはるかに上回る現状です。農業費の4億9,000万円のほとんどが、農地費や霞ヶ浦用水事業の負担金、農業集落排水事業への繰出金などで、農業振興費などはほんのわずかです。これでは、町長の言う活力と将来性に満ちた農業の振興にはならないと思います。

また、前政権と同様、軍事費や、大企業、大金持ち優遇税制は温存、継続し、庶民には負担増を押しつける国の政策をそのままあらわした予算内容には納得がいきませんので、反対をいたします。

議案第13号 国保特別会計について反対をいたします。前政権が構造改革路線のもと、毎年2,200億円ずつ社会保障費を削減してきたため、国保への国庫補助率が半減して、国民や自治体に負担が重くのしかかってきています。1984年には、自治体の国保会計の49.6%を占めていた国庫負担が、2007年度には25%にまで下がり、その結果、1人当たりの保険料は2倍以上になっています。2009年6月現在、当町の国保税の滞納者は860世帯、滞納者は約2割です。資格証明書の発行もふえています。資格証明書が発行されれば、病院の窓口で全額自己負担となり、これが病気の重症化にもつながります。住民健診についても、従来の総合健診から特定健診に変わり、基本健診料も引き上げられ、そのほか胃がん検診など希望する検診を受けると、従来の健診料よりもかなり高くなります。町は受診料を低くし、健診を受けやすくすべきではないでしょうか。予防医療を徹底することによって高額治療をなくし、国保会計の改善にもつなげることが重要かと思えます。

また、保険税の最高限度額、医療分、後期高齢者支援分、介護分が69万円に昨年引き上げられました。また、22年度から4万円引き上げられようとしています。所得割率や応益割額が高過ぎるため、高額所得者とはいえない人まで限度額を支払っているのが現状です。国庫負担を減らし、国民負担をふやし続ける国の法令どおりの予算執行には反対をいたします。

議案14号 老人保健特別会計について反対をいたします。後期高齢者医療制度に伴うもので、当初より後期高齢者医療制度に対しては高齢者に負担を強いるものとして反対してきましたので、この予算執行には反対をいたします。

議案第15号 後期高齢者医療特別会計についての反対をいたします。75歳という年齢で高齢者を別枠の保険制度に囲い込み、年金月1万5,000円以下の人からも保険料を取るというお年寄りいじめの制度ですので、私どもは当初より反対してきました。この制度に移行する前は、お年寄りのいる世帯は保険証の取り上げの対象外でしたが、滞納が1年以上続くと資格証明書が発行され、無保険状態になってしまいます。当町の滞納者もふえております。窓口負担がますます大変、後期医療制度はやめてほしいなど多くの高齢者の声です。新政権はこの制度を廃止すると言っていましたが、公約を破り、先延ばししました。2年ごとに保険料が上がる仕組みになっており、この4月から全国的に値上げになるということです。県広域連合では、多くの県民の声で値上げを中止することになりましたが、この制度そのものが高齢者に負担を強いるものであり、法令どおりの予算執行には反対をいたします。

最後に、議案16号 介護保険特別会計についてです。前政権の社会保障費の毎年2,200億円の削減により、介護保険は繰り返し改悪され、負担増や介護取り上げが進められてきました。在宅での生活はますます難しくなり、施設の順番待ちも深刻です。昨年の事業見直しで保険料が上がるばかりでなく、介護認定基準が非常に厳しくなり、多くの方が要介護度がこれまでよりも軽く判定されました。この認定基準見直しのねらいは、認定の軽度化を図り、給付を削減することです。お金がなければ、在宅介護も施設入所も難しいと町民の皆さんは嘆いています。国民の負担が重い最大の原因は、介護保険制度以前の国庫負担割合が50%が、制度が開始されて25%とされ、三位一体改革により2009年度は22.8%まで引き下げられたことにあります。被保険者や自治体に負担を押しつける法令どおりの予算執行には反対をいたします。

以上で反対討論を終わります。

議長（生井和巳君） 賛成討論ないですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） これで討論を終わります。

これから採決をいたします。

この採決は起立により行います。

最初に、議案第12号を採決いたします。

議案第12号 平成22年度八千代町一般会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長（生井和巳君） 起立多数です。

よって、議案第12号 平成22年度八千代町一般会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第13号を採決いたします。

議案第13号 平成22年度八千代町国民健康保険特別会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長（生井和巳君） 起立多数です。

よって、議案第13号 平成22年度八千代町国民健康保険特別会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第14号を採決いたします。

議案第14号 平成22年度八千代町老人保健特別会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長（生井和巳君） 起立多数です。

よって、議案第14号 平成22年度八千代町老人保健特別会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第15号を採決いたします。

議案第15号 平成22年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長（生井和巳君） 起立多数です。

よって、議案第15号 平成22年度八千代町後期高齢者医療特別会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第16号を採決いたします。

議案第16号 平成22年度八千代町介護保険特別会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長（生井和巳君） 起立多数です。

よって、議案第16号 平成22年度八千代町介護保険特別会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第17号を採決いたします。

議案第17号 平成22年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長(生井和巳君) 起立多数です。

よって、議案第17号 平成22年度八千代中央土地区画整理事業特別会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第18号を採決いたします。

議案第18号 平成22年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長(生井和巳君) 起立多数です。

よって、議案第18号 平成22年度八千代町農業集落排水事業特別会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第19号を採決いたします。

議案第19号 平成22年度八千代町下水道事業特別会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長(生井和巳君) 起立多数です。

よって、議案第19号 平成22年度八千代町下水道事業特別会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、議案第20号を採決いたします。

議案第20号 平成22年度八千代町水道事業会計予算は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長(生井和巳君) 起立多数です。

よって、議案第20号 平成22年度八千代町水道事業会計予算は原案のとおり可決されました。

次に、請願第1号を採決いたします。

請願第1号に対する産業建設常任委員長の報告は継続審査であります。請願第1号については委員長報告のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立多数)

議長(生井和巳君) 起立多数です。

よって、請願第1号は委員長報告のとおり継続審査とすることに決定いたしました。

日程第2 議案第21号 町道路線の廃止について

議案第22号 町道路線の認定について

議長(生井和巳君) 日程第2、議案第21号 町道路線の廃止について、議案第22号 町道路線の認定についてを一括議題といたします。

朗読を省略して、提案理由の説明を求めます。

町長。

(町長 大久保 司君登壇)

町長(大久保 司君) ただいま一括上程されました議案第21号 町道路線の廃止について、議案第22号 町道路線の認定についての提案理由をご説明申し上げます。

最初に、町道路線の廃止についてから申し上げます。今回の廃止は、下結城地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴い廃止するもの、高崎地内の町道としての機能喪失に伴い廃止するものです。廃止対象路線は、下結城地区県営畑地帯総合土地改良事業道六地内の町道3485号線の1路線、町道としての機能喪失による高崎地内の町道1119号線、合わせて2路線を廃止するものであります。

次に、町道路線の認定について申し上げます。今回の認定は、中央地区土地区画整理事業に伴うもの、下結城地区県営畑地帯総合土地改良事業に伴い認定するものであります。認定対象路線は、中央土地区画整理事業により整備された菅谷・若地内の町道2667号線、3860号線、3861号線、3862号線の4路線、下結城地区県営畑地帯総合土地改良事業により整備された道六地内の町道3850号線、3851号線、3852号線、3853号線、3854号線、3855号線、3856号線、3857号線、3858号線、3859号線、3863号線、3864号線の12路線、合わせて16路線の認定であります。

以上、提案理由を申し上げましたが、慎重にご審議の上、原案にご賛同くださいますようお願い申し上げます。説明といたします。

議長（生井和巳君） これから質疑を行います。

14番、湯本直議員。

14番（湯本 直君） 議案第21号 町道路線の廃止についてですが、この高崎地内、ちょうど100メートルぐらいで、今町長の説明だと道路としての機能が失われるような状況だということですが、だれがこの廃止することに申請をしてあるのか。廃止した道路は地先権があるのだけれども、それはだれに譲渡する予定なのか。その2点について、ひとつお願いします。

議長（生井和巳君） 都市建設課長。

（都市建設課長 稲村信義君登壇）

都市建設課長（稲村信義君） 14番、湯本議員の質疑の件ですけれども、この里道につきましては、所有者が相澤信男氏でございます。相澤さんの宅地がありまして、その間に行きどまりの里道があります。その左側の畑が、やはり同じ相澤さんの持ち主ということで、その里道の払い下げですね。それは相澤氏にいく、これから申請して行う予定でございます。

以上でございます。

議長（生井和巳君） 14番、湯本直議員。

14番（湯本 直君） これは道路としての価値がないというか、相澤さんの屋敷の中は通っていないで屋敷の端を通して、ただ隣地に相澤さんの土地が全部あるような状況かと思うのですが、恐らくこれつながっていないで、この路線を廃止しても一番末端に耕作している人は、あるいは地権者がいないのかあるのか、それをひとつお願いします。図面だとつながっていないようなので、それが1つと、いわゆる相澤さん個人的に廃止してくれということになると思うので、払い下げになるのですが、これは関東財務局か、あるいは町道で町が管理するので、町で単価を設定して払い下げして幾らになるのか。ちょうど100メートルですから、平米で何平米あるかお願いしたいのですが。

議長（生井和巳君） 都市建設課長。

（都市建設課長 稲村信義君登壇）

都市建設課長（稲村信義君） 細かい資料をちょっと今お持ちしていないのですけれども、あくまでも国有地から里道として町に払い下げになったものでございまして、それを払い下げするものでございます。

（「町に払い下げになった」と呼ぶ者あり）

都市建設課長（稲村信義君） 払い下げになっています、里道として。

（「町の財産」と呼ぶ者あり）

都市建設課長（稲村信義君） 町の財産に。里道は、すべて町の財産に払い下げになっていまして、それを行政区の同意等も必要になってきますけれども、その同意を得まして、周りの周囲の地権者の同意をもらいまして、払い下げしてもいいかということで同意をもらってから払い下げするような形でございます。

（「平米幾らなんだんべ」と呼ぶ者あり）

都市建設課長（稲村信義君） 平米はあくまでも、これ財産管理委員会まだやっていないものですから、これから財産管理委員会をやりまして、その管理委員会の中で決定すると。

（「これは右、左とも相澤さんの」と呼ぶ者あり）

都市建設課長（稲村信義君） 相澤さんの所有になっています。突き当たりの道路になっています。

（「今、平米数や何かもわかります」と呼ぶ者あり）

都市建設課長（稲村信義君） 平米数はちょっと、ここでは資料ないので。

（「後で」と呼ぶ者あり）

都市建設課長（稲村信義君） はい、わかりました。

議長（生井和巳君） あと質疑ありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 討論なしと認めます。

これから議案第21号 町道路線の廃止について、議案第22号 町道路線の認定についてを一括して採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 異議なしと認めます。

よって、議案第21号 町道路線の廃止について、議案第22号 町道路線の認定について

ては原案のとおり可決されました。

日程第3 閉会中の継続調査の件

議長（生井和巳君） 日程第3、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

本件につきましては、会議規則第75条の規定により、議会運営委員長から別紙のとおり報告がありましたので、委員長報告のとおり閉会中の継続調査と決定したいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（生井和巳君） 異議なしと認めます。

よって、委員長報告のとおり閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

議長（生井和巳君） 以上で本定例会に付議されました案件はすべて議了いたしました。

ここで町長より発言の申し出がありましたので、これを許可いたします。

町長。

（町長 大久保 司君登壇）

町長（大久保 司君） 平成22年八千代町議会第1回定例会の閉会に当たりまして、一言御礼のごあいさつをさせていただきます。

議員各位には、開会以来本日まで10日間にわたり慎重なご審議を賜り、ありがとうございました。各会計の予算を初め議案22件の重要案件につき議了いただきました。町政発展のため、ご同慶の至りであります。審議の間におかれましては、貴重なご意見、ご提言、ご要望等につきましては真摯に受けとめ、町政の執行に当たり反映していく所存でありますので、よろしく願いいたします。

また、政権交代の民主党の公約であります子ども手当が来年度より実施されますので、そのための事務も取り組んでまいります。かつてない景気不安の中で、限られた財源のもと、最大の効果を図れますよう職員一同切磋琢磨してまちづくりに邁進していく所存でありますので、議員各位にもなお一層のご協力、ご理解をお願いいたします。

終わりに臨みまして、議員各位の限りないご発展とご健勝、ご多幸を併せてご祈念いたしまして、簡単であります。御礼のあいさつとさせていただきます。

以上であります。

議長（生井和巳君） 閉会に当たり、一言ごあいさつ申し上げます。

去る3月8日以来本日まで10日間にわたり、議員各位には平成22年度当初予算を初め多くの重要案件を熱心に審議され、適切な議決を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成22年度の予算執行に当たりましては、審議過程でのさまざまな意見、指摘、要望等を十分反映し、町政を進められるようお願いいたします。

結びに、皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げ、平成22年第1回定例会を閉会といたします。

(午後 3時46分)

地方自治法第123条の規定によりここに署名する。

議 長 生 井 和 巳

署 名 議 員 中 山 勝 三

署 名 議 員 相 沢 政 信